

AREA WEB
エリアウェーブ

主な記事・紹介校・団体

- ・笛川中・芦川小・石和東小・玉宮小
- ・後屋敷小・御所西小・大和中小
- ・日下部小・日川高・勝沼中・塩山北中
- ・一宮中・NPO 法人等・各中学
- ・山梨青年会議所

峡東教育事務所 地域教育支援スタッフ Tel 0553-20-2731 Fax 0553-20-2733

市民が手をつなぎ、教育と文化を育む山梨市

山梨市 教育長 澤田 隆雄 氏

山梨市 フルーツライン展望台より

峡東3市教育長による連載・第2回は就任2年目を迎える山梨市の澤田教育長です。

Q 山梨市の教育の特色は

本市では、「未来の人材を育てる」という、人づくりの目標に向かって様々な取り組みを行っています。その中のひとつが小学校英語教育です。この小学校英語教育では、児童一人ひとりが実践的英会話を通して、楽しく、興味を持って英語を学ぶことにより、子どもたちの英語力の定着・向上を目指しています。平成21年に岩手小学校が文部科学省の英語特区の指定を受けたことで始まり、現在では市内すべての小学校が指定されました。

今年度は、1・2年生が年間15時間、3・4年生は全国平均の年間35時間に10時間を加えた45時間、5・6年生は35×2の70時間に10時間を加えた年間80時間の英語授業を行っています。指導内容については、中学校3校を含めた市内11校の代表からなる「山梨市小学校英語科教育推進委員会」を中心に、山梨市版の英語科の教育課程を新たに編成しています。授業は全学年で学級担任とALT(外国語指導助手)、JTE(日本人英語指導助手)の3名で、また5・6年生はさらに英語専科教員も加わり、4名の体制で取り組んでいます。

また、ALTとJTEが市立の保育園・幼稚園を訪問し、小中学校にスムーズに連携できる活動も行っています。

Q 地域支援に期待することは

学校教育の現場には様々な課題が山積しているなか、新型コロナウイルスという新たな課題が出てきました。子どもたちの豊かな成長のためには、今まで以上に教職員・保護者・地域住民の3者がしっかりとスクラムを組

み、これらの課題に取り組んでいかなければならないと思っています。そのためには、この3者が知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させ、協力・協働して「地域の子どもは地域で育てる」という、コミュニティースクールの設置が強く求められていると思います。本市では平成28年、笛川小学校にコミュニティースクールを設置しました。今後は市内すべての学校に設置し、地域と学校が一体となって子どもたちの豊かな成長を目指していきたいと考えています。

Q これからの課題は

文部科学省が推進しているGIGAスクール構想により、学校のICT環境が激変し、児童生徒に1人1台の端末が整備されます。それに伴って進む学びの転換に、各学校がどのように対応していくのかが大きな課題となります。本市では教育委員会内に「IT指導員」という専門職員を置き、各学校のICT環境のサポートに努めています。十分に活用してもらいながら、今後も各学校のICT委員の先生方を中心に、市全体で指導内容・方法をしっかりと検討・準備していきたいと考えています。



昭和53年、山梨北中学校で社会科教諭として教壇に立つ。県教委義務教育課や山梨北中学校長を経て令和元年から教育長。趣味は読書・旅行。67歳。

澤田教育長が大切にする「コミュニケーション力」を高めようとするいくつかの企画が、今年度のコロナウイルスの影響で中止になってしまったことが残念でした。今回も紙面の関係で全ては紹介できませんでしたが、ご協力いただき、誠にありがとうございました。

～自然農法の大切さを学びました～

山梨市立笛川中学校



実に触れないように気をつけ、慎重に袋かけをする生徒たち

笛川中では、牧丘地区の特産品である「巨峰」品種をこの地に導入した方のご息女で、50年ほど前から完全無農薬の自然農法に取り組んでいる澤登さんを講師に迎え、農業体験をしています。生徒たちは作業前に「農薬」には「除草剤」「殺虫剤」「殺菌（防カビ）剤」があることや、農産物の病気や食害の原因を正しく知ること、無農薬でも対策ができることを学んでいました。一見、雑草に見える下草に棲む生物が、害虫を駆除していることや、枯葉などを分解して土壌の循環に関わっていることに気づくと、持続可能な生態系が見えてきます。生徒たちは作業を楽しみながらも「手間はかかるけど、大切なこと」「ブドウ（栽培の）文化を遺したい」などの感想とともに、いっそう郷土愛を深めていました。



下草を細かく砕いた有機肥料と点滴灌漑（かんがい）用のホース



リデュース・リユース・リサイクル 笛吹市立芦川小学校・石和東小学校



リサイクル棟で分別処理の様子を学ぶ、芦川小の児童たち

峡東3市の多くの小学校は、4年生の社会科で甲府・峡東クリーンセンターを見学します。今年は新型コロナウイルスの関係で、しばらく見学を受け入れてもらえませんでした。再開後、さっそく芦川小や石和東小などが見学に訪れました。見学を終えた児童たちは、「楽しかったです」「知らないことがたくさんありました」と、大きくて清潔な施設に感動していました。いまだ家庭から出される様々なゴミの処理の方法や、エネルギーへの再生方法を学び、地球環境について深く考える機会となりました。



エネルギー棟で可燃ゴミから発電される様子学ぶ、石和東小の児童たち



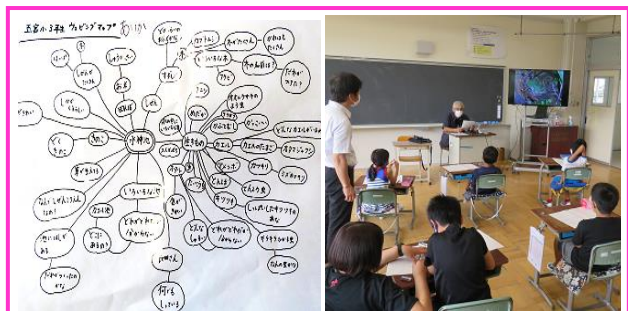
～身近な自然に目を向けよう～

甲州市立玉宮小学校

甲州市玉宮地区には、身近に自然観察ができる「水神池自然公園」があります。この場所は昔から自然にあったものではなく、この地域の有志の方々によって地元子どもたちが動植物の生態などを自由に学習できるように、手造りで整備されたものです。玉宮小では毎年、それぞれの学年ごとに沿ったプログラムで自然学習を行っています。3年生では水神池公園の創設にも関わり自然観察指導を行う長田 義己氏を講師に迎え、池の動植物について教わったり、質問したりしていました。



水神池での現地活動



「水神池」からイメージできる単語をウェビングマップにまとめ、講師への質問を考えた児童たち

長田 義己氏を講師に迎え、池の動植物について教わったり、質問したりしていました。

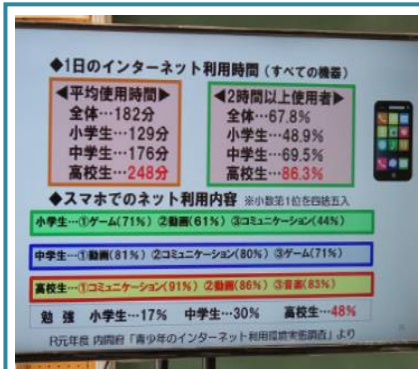
～犯罪の被害にあわないために「気づき・考え・実行する」～

山梨市立後屋敷小学校

後屋敷小では5, 6年生を対象に、山梨県警 生活安全部の 山岸 正人 少年対策官を講師に招き、インターネット（スマホ等）の危険性を知るための防犯教室を実施しました。児童



講師の質問に元気に答える児童たち

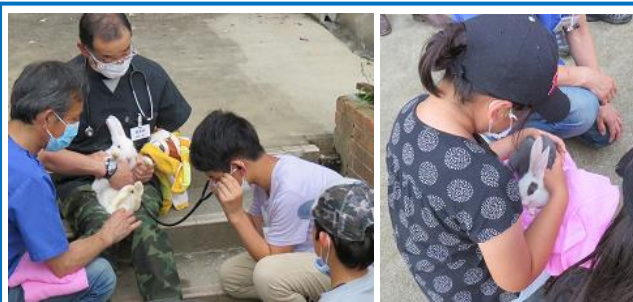


スマホ等によるインターネットへの依存度 (講義中の画像資料より)

たちは、普段何気なく使っている動画投稿型 SNS の危険性などについて、わかりやすく工夫された画像資料や DVD の映像を見て、驚いたり、うなずいたりしながら、利用時の注意点をしっかり学んでいました。「便利なものには必ず危険が潜む」という講師の言葉から、「何から (誰から)」「なぜ (何のために)」身を守るのか、自分たちで気づき、考え、また個人情報を漏らさないための具体的な「どういった行動で」身を守ったらよいのか、実行する大切さを学ぶことができました。

～動物の気持ちになって考えてみよう～

笛吹市立御坂西小学校



獣医師の指導のもと、聴診器でウサギの心拍音を聴き取ったり、正しい抱き方を教わる児童たち

笛吹市の小学校では、半数近くが学校飼育動物の扱い方について獣医師会から指導を受ける機会を設けています。この事業は、数十年前からこの地区に多かった狂犬病の対策講話として始まったものですが、現在では情操教育の一環として続いています。御坂西小では、飼育委員会の5, 6年生が獣医師の先生方からウサギの特徴や飼育方法について簡単な講義を受け、その後、実際に触れ合いながらウサギの正しい扱い方を学びました。

児童たちは、可愛いウサギの気持ちになって「して欲しいこと」「嫌がること」などを感じ取っていました。



PTA 親子オンライン授業 (学習会)

甲州市立大和中学校・大和小学校

大和中と大和小では、PTA の主催で「災害時におけるメンタルヘルス：ストレスの向き合い方」と題し、臨床心理士でもある山梨英和大学の 黒田 浩司 教授を講師に迎え、リモートによる学習会を実施しました。参加した児童生徒・保護者らは、今まさに直面しているコロナ禍や異常気象による自然災害の中で、健全な心を失いかちな社会においても、前向きに生きる方法などを学んでいました。3密を避けるため、校舎内の別会場で視聴していた保護者の方々もおり、「小学生の保護者とも共有できて良い」「家庭でも視聴できてありがたい」「今後もオンラインの活動・事業を増やして欲しい」などの感想が聞かれました。



講義を聴き、講師に質問する大和中の生徒とその保護者の方々

別会場となる大和小で同時に視聴する児童と保護者の方々

PTA ウイルス消毒ボランティア 山梨市立笛川中学校・日下部小学校



日下部小の保護者ら 笛川中の保護者ら

コロナウイルス感染症の拡大防止対策は、各学校で様々な取り組みがなされています。児童生徒の下校後、先生方は日々校舎内の消毒作業に追われていますが、笛川中や日下部小では十分な対策をした上で、有志の保護者にも協力をいただいで実施しています。参加した保護者からは「先生方のご苦勞を知り、恩返しのご気持ち」「ボランティアを通じ、他学年の保護者とも仲良くなった」「部活など学校の様子が伺えて良い」などのありがたい感想が多く聞かれました。学校側も保護者の皆様に大変感謝していました。



サイエンスステップ～科学を学ぼう～

山梨県立日川高等学校

日川高校ではスーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業の一環として、峡東地区管内の小学4～6年生、約60名を対象に小学生科学教室「サイエンスステップ」を開催しました。今年はコロナウイルス感染拡大防止対策として中庭において2部構成で実施しました。高校生が講師となり「物理・化学・生物・地学・数学」の5つの講座に分かれて実験の説明や演示を行い、児童たちは

高校生から指導を受けながら楽しく科学に関する学習をしていました。高校生からは「自分自身の勉強になった」、小学生からは「優しく教えてもらった」「面白かった」などの感想がありました。



実験を楽しむ児童と保護者

～地球の限界が先か、生活転換が先か～

甲州市立勝沼中学校

勝沼中では生徒会が主体となって NPO 法人「SDGs ネットワークやまなし」の内田 智之 氏を講師に迎え、SDGs（持続可能な開発目標）についての学習会を実施しました。3年生は体育館、1、2年生は各教室においてリモートで講演を聴き、質疑応答も行っていました。生徒たちは世界中の同世代の人たちの活躍を知り、環境問題とそれに対する「自分にできる小さなこと」「興味あること」「継続できること」などを探して具体的な活動を起こし、8月に県の生涯学習推進センターで実践発表も行いました。



講師を前に体育館で全校生徒に呼びかける生徒会長

画面越しの講師の質問に挙手で応える生徒たち

生徒会を代表し、防災新館で行われた学習会で発表



花と緑と”心”を育てる職業体験

甲州市立塩山北中学校



苗ポッドを並べる生徒たち

情操教育にもなる美しい花々

塩山北中では、数年前から学校近隣の「南園芸」で職業体験を行っています。生徒たちは、元中学校の数学教員でもある経営者の南 芳先 氏から「1ケースに20ポッドが70ケース、10回運べば何ポッド？」「空箱を見たら次は何をすべき？」などと常に考えさせられながら、作業以外にも仕事に向かう姿勢や人間としてのあり方など、大切なことをたくさん学んでいたようです。年間100万株をも生産する作業の一部を体験し、「重たくて大変だけど、いろんな仕事があることを知って勉強になった」「（この苗が）たくさんの花や野菜になると思うと楽しみ」といった感想が聞かれました。

PTA 主催の夏休み学習会

笛吹市立一宮中学校

一宮中PTAは、いちのみや桃の里ふれあい文化館において同校を卒業した高校生を指導ボランティアに迎え、学習会を開催しました。参加した中学生からは「解らなかった課題が一気に仕上がって良かった」「歳が近い先輩たちの方が、気兼ねなく質問しやすい」高校生からは「母校のために何か協力したかった」「自分も中学の時に苦しんだ問題の理解方法をアドバイスできた」「将

来は教員志望なので、良い経験になった」などの感想が聞かれました。今夏指導を受けた中学生たちが、来年以降指導する側になっていくであろう素晴らしい企画でした。



高校生に教わる中学生



夏休み中のさまざまな地域教育の取り組み

各NPO 法人等

今年はコロナ禍で短くなってしまった夏休みでしたが、学校を離れた子どもたちが、地域の中で楽しみながら学べる企画がいくつか実施されました。いずれも3密を避けるために、人数制限やグループ分け、開始前の検温や健康チェックなど、感染拡大防止への対策がしっか

りとなされていました。また、参加した子どもたちからは、「ずっと楽しみにしていた」「普段、あまりできないことが楽しい」「また来年も参加したい」「知らないことがたくさんあって勉強になった」といった感想が聞かれ、夏の思い出とともに貴重な体験となっていました。



NPO 法人「学びの広場ふえふき」による読書感想文教室に参加し、5つの会場に分かれて、それぞれの講師による解説に熱心に聴き入る子どもたち



NPO 法人「すてっぷ・あっぷる」で、教員志望の高校生ボランティアからサポートを受け、英語でネイティブの先生とゲームを楽しむ子どもたち



認定NPO 法人「Happy Space ゆうゆうゆう」と「一宮児童館」共催のデイキャンプに参加し、野山を駆けまわり、清流に入って遊ぶ子どもたち



「おはなしのへや もも」による山梨岡神社境内の夜間自然観察会に参加し、神秘的なセミの羽化の様子を、目の前でじっくり観察する子どもたち



中学校県総合体育大会が開催されました 峡東管内3市 各中学校

今年は予選会である地区大会がないまま7月下旬～8月上旬にかけて県総合体育大会が開催されました。峡東3市の中学生が出場し熱戦を繰り広げていました。3年

生中心に出場した関係で出場数に一部制限がありましたが、県内他地区の中学校との対戦機会は、3年間の集大成として良い思い出になったのではないのでしょうか。



山梨青年会議所ウインタースポーツ教室 公益社団法人 山梨青年会議所

2月16日に『五感で感じる スノーマウンテン!』と題したウインタースポーツ教室が車山スキー場で開催され、山梨市内の30名以上の小学生が参加しました。指導に当たったのは、インストラクターや青年会議所のメンバーです。

子どもたちは、スキーだけではなくスノーボードやそりなど雪山でのスポーツを体験しました。インストラクターの説明を受けた後、スキーやスノーボードで雪山にシュプールを描いていました。またそりで斜面を気持ちよさそうに滑り降りてきました。また昼食をみんなで和

気あいあいととりながら、親交を深めました。

今回は、子どもたちが普段触れる機会がないスキーやスノーボード、そりを雪山で体験できるという、子どもたちにとってあまり経験のない環境の中で行われました。まさにテーマである五感で雪山を感じることができました。子どもたちからは「初めてスノーボードで滑ったけど、楽しい。」「そのスピードが速くて面白かった。」といった感想も聞かれ、雪山でのスポーツに対する興味を深める教室となりました。



峡東教育事務所からのお知らせ

※ 11月19日(木) 実施予定の 令和2年度 峡東地域 人権のための講演会 「子どもをいじめから守るために」 ～大人にできること、しなければならないこと～ (講師: 一般社団法人 ここから未来 代表理事 大貫 隆志 氏) の会場が、**甲州市民文化会館 ホール** に変更になりました。参加申し込みは**11月5日(木) まで**に各職場・関係機関でとりまとめる申し込み票にて、またはメール・電話・FAXなどで、以下まで直接ご連絡ください。

メール: shimegi-pwyg@pref.yamanashi.lg.jp 電話: 0553-20-2731 FAX: 0553-20-2733

※ 9月からの後期開催を検討していた「ことぶき勸学院 峡東教室」は1, 2学年とも実施できないことになりました。来年度の入学希望をお待ちしています。

カラー版をご覧ください

『エリアウェブ』はカラー版を峡東教育事務所のホームページで掲載中です。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、ホームページを開いて是非ご覧ください。

ホームページアドレス

<https://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-hym/chiiki/areaweb.html>



エリアウェブ
ホームページ

ご意見をお寄せください

『エリアウェブ』のご意見・ご感想・取材情報をスタッフ一同お待ちしております。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、メールでご連絡いただくか、表紙上部の連絡先にご連絡ください。

E-mail アドレス

kyoiku-hym@pref.yamanashi.lg.jp



お問い合わせ